

# リオン株式会社

## 2018年3月期 決算説明会

東証一部 証券コード〈 6823 〉

免責事項 | 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# I 決算のご説明

- ・2018年3月期の実績
- ・2019年3月期の見通し

常務取締役 大内 武彦



## 売上高・各利益ともに過去最高を更新

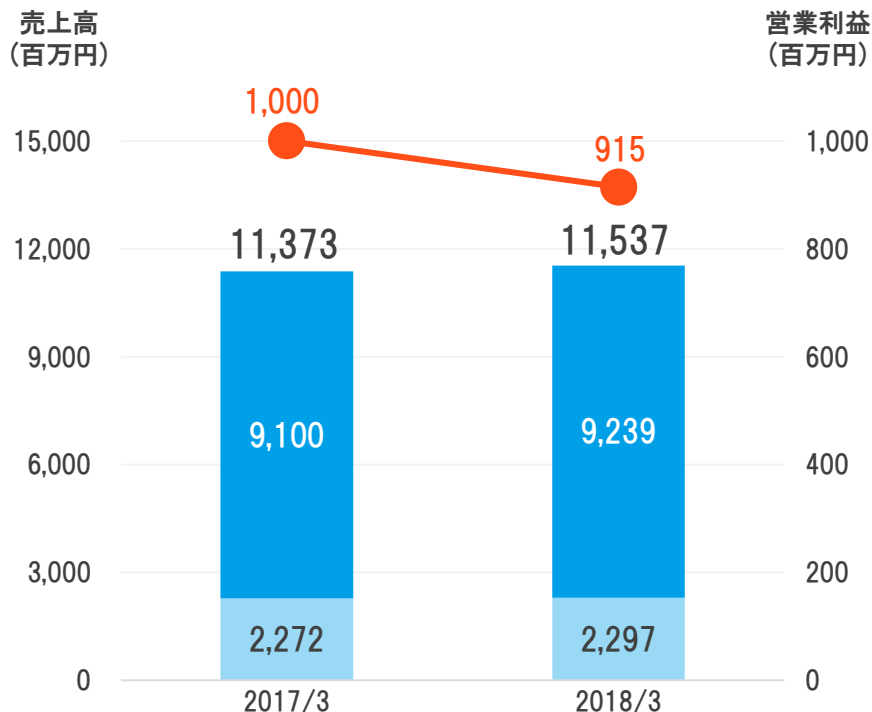
- 4製品群全てにおいて増収となる
- 環境機器事業の好調な販売により  
大幅な増収増益を牽引

## 期初予想を上回り、 売上高・各利益ともに過去最高を更新

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期		前期比	
		実績	期初予想	増減額	増減率
売上高	19,194	20,350	19,600	1,156	6.0%
営業利益	1,867	2,572	2,300	704	37.7%
経常利益	1,957	2,651	2,400	693	35.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,408	1,887	1,700	479	34.0%
1株当たり当期純利益	114円72銭	153円76銭	138円47銭	—	—
営業利益率	9.7%	12.6%	11.7%	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	8.0%	10.1%	—	—	—

## 補聴器販売網の拡大に向けて先行投資



売上高 医療機器事業	前期比	1.6億円	1.4% ↑
売上高 補聴器	前期比	1.3億円	1.5% ↑
売上高 医用検査機器	前期比	0.2億円	1.1% ↑
営業利益	前期比	▲0.8億円	8.5% ↓

### 補聴器



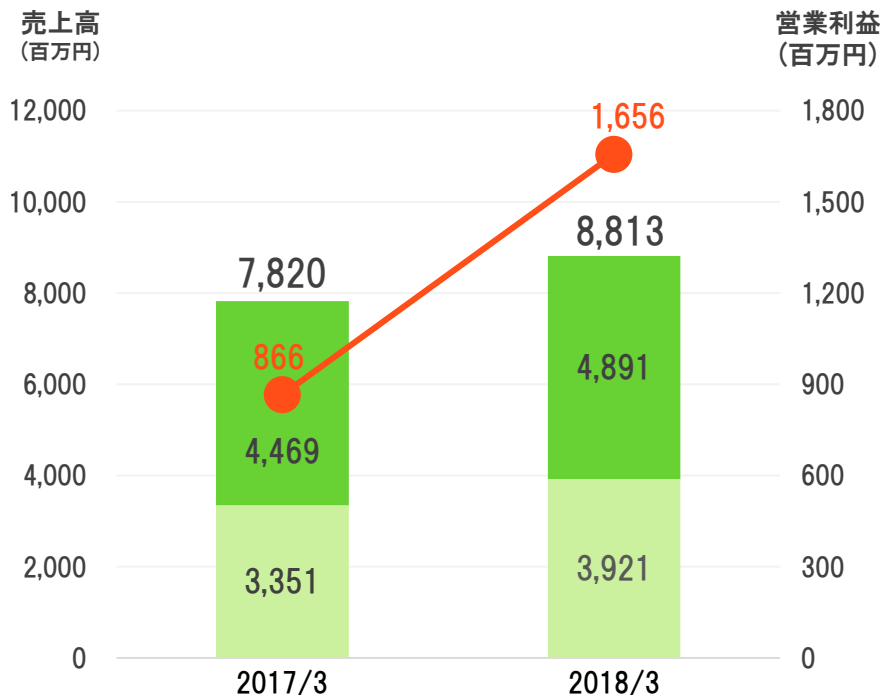
補聴器は、昨年8月に発売した高価格帯製品が第2四半期までの落ち込みをカバー。売上高は前期を上回るも、新規出店に伴う販売費等が増加。

### 医用検査機器



医用検査機器は、臨床現場に最適なオーディオメータを昨年4月に投入したほか、大型の聴力検査室が好調な販売となったことなどから増収に。

## 両製品群ともに好調で、大幅な増収増益を達成



売上高 環境機器事業	前期比	9.9億円	12.7% ↑
売上高 音響・振動計測器	前期比	4.2億円	9.4% ↑
売上高 微粒子計測器	前期比	5.7億円	17.0% ↑
営業利益	前期比	7.8億円	91.1% ↑

### 音響・振動計測器



音響・振動計測器は、建設工事が活況であったことから騒音計や振動計の販売が増加。

新製品の航空機騒音観測システムや、産業計測市場の設備拡大に伴う各種計測器の販売も好調なため、増収となる。

### 微粒子計測器



微粒子計測器は、海外における先端の液中微粒子計の販売が大きく伸長。国内の半導体需要の高まりに備えた工場拡充に伴い、気中微粒子計の販売も堅調に推移し、売上高は前期を大幅に上回る。

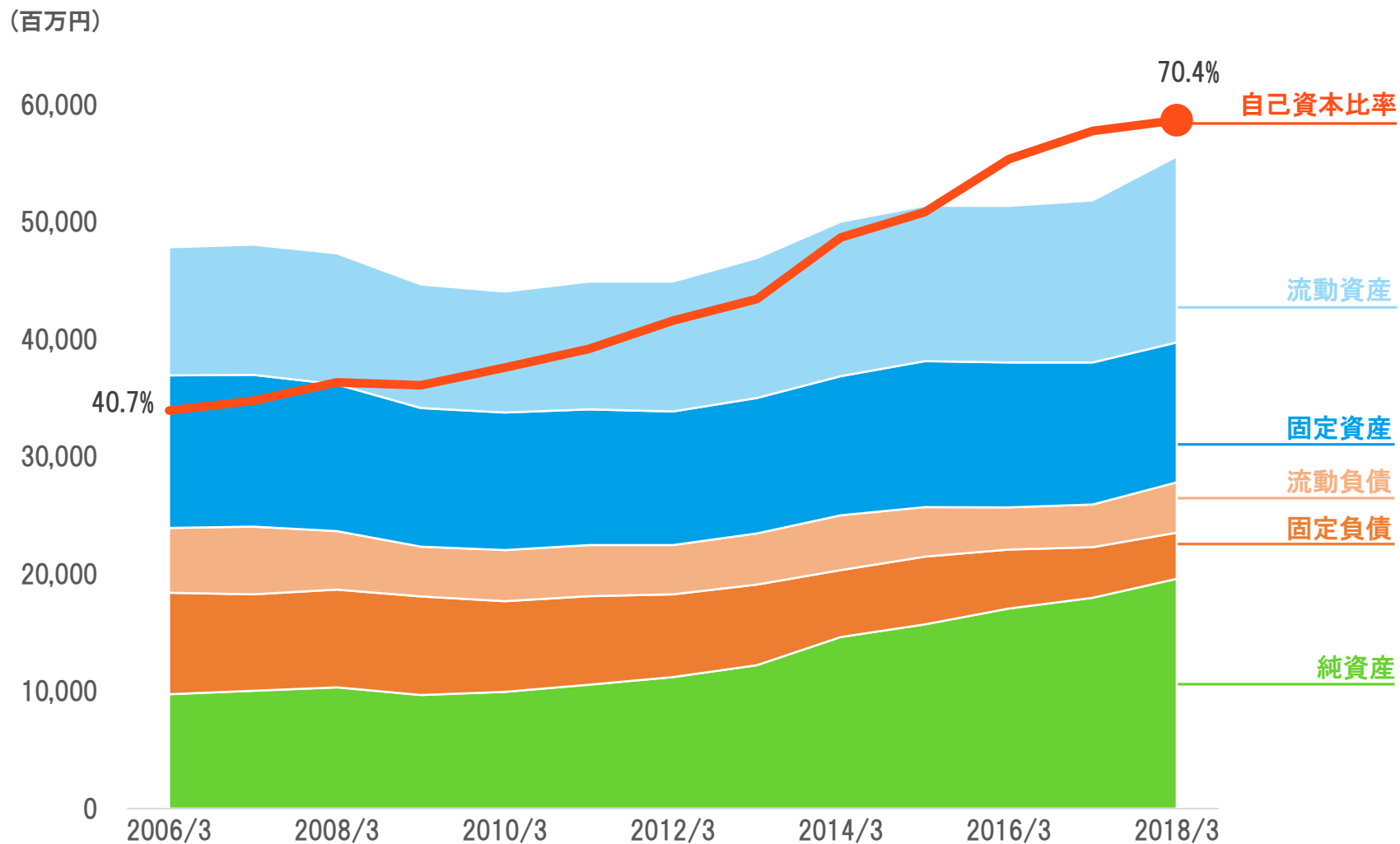
## 売上高が200億円を突破し、過去最高を更新

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	19,194	20,350	1,156	6.0%
売上原価	9,009 (46.9)	9,337 (45.9)	328	3.7%
売上総利益	10,185 (53.1)	11,012 (54.1)	827	8.1%
販売費及び一般管理費	8,317 (43.3)	8,439 (41.5)	122	1.5%
営業利益	1,867 ( 9.7)	2,572 (12.6)	704	37.7%
経常利益	1,957 (10.2)	2,651 (13.0)	693	35.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,408 ( 7.3)	1,887 ( 9.3)	479	34.0%

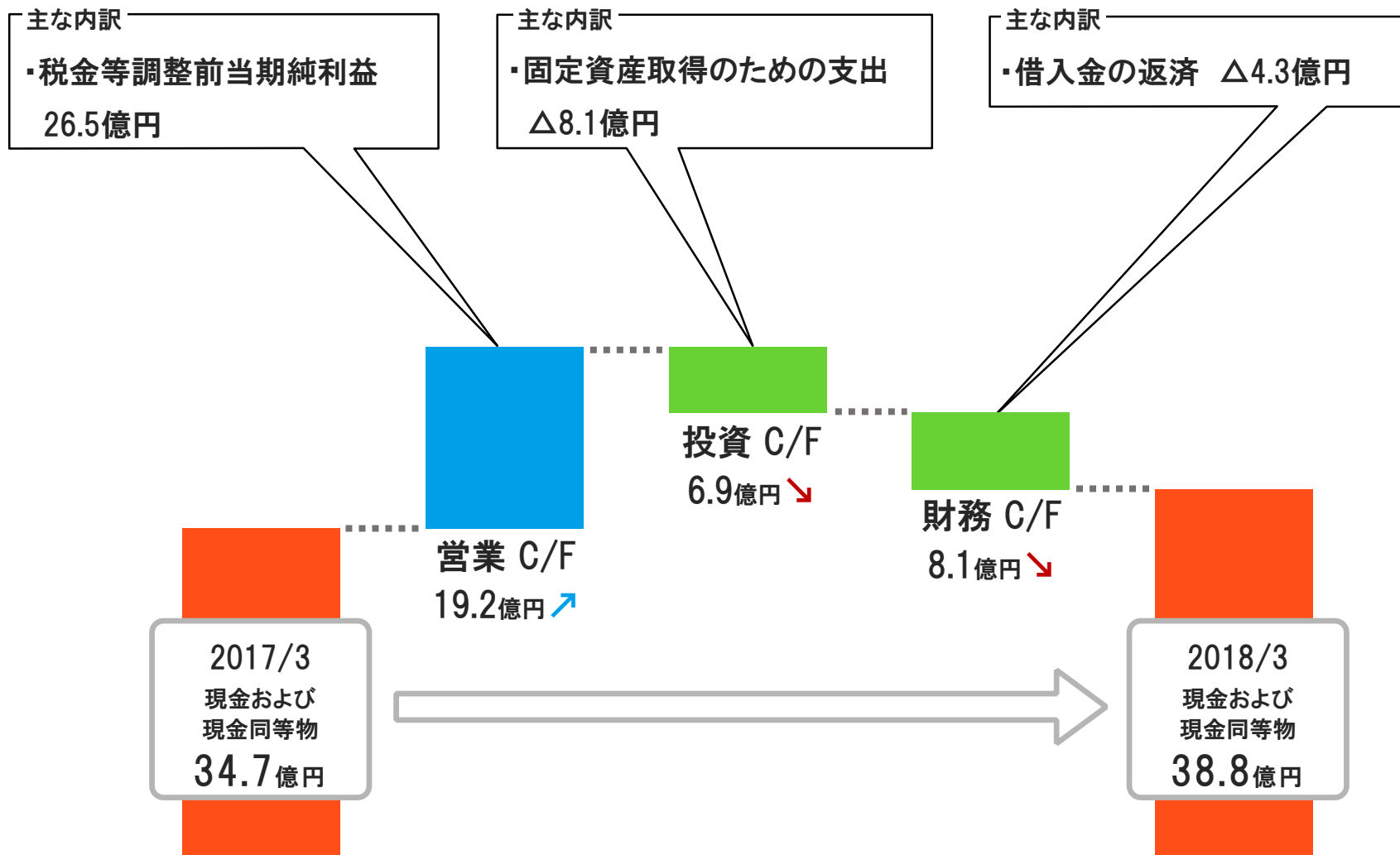
※ ( )内は対売上高比率：%

## 財務体質の改善が進む





# 連結キャッシュ・フロー計算書



# 2019年3月期の見通し

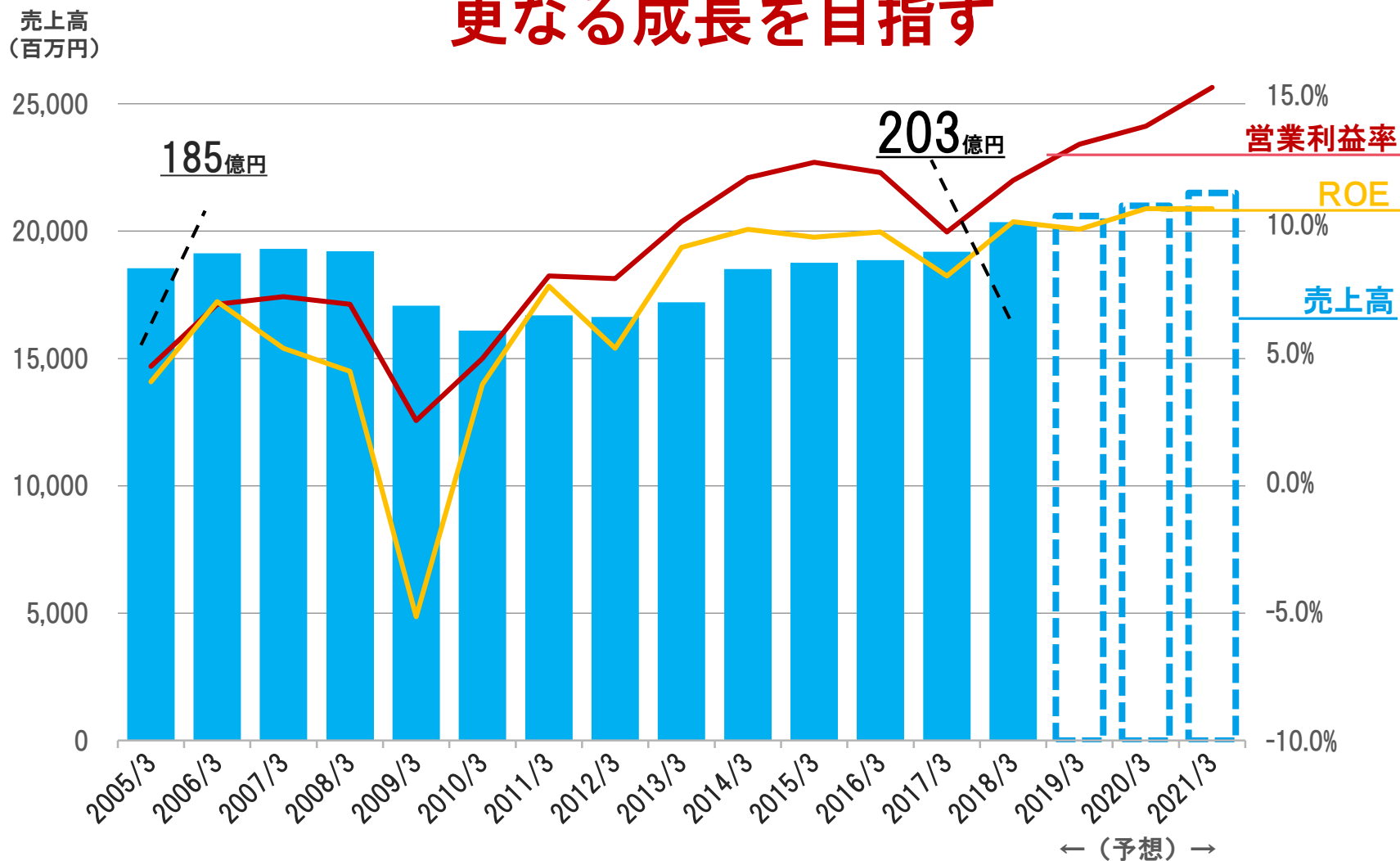
## 当期を上回る増収増益を見込む

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	当期比	
			増減額	増減率
売上高	20,350	20,600	250	1.2%
営業利益	2,572	2,700	128	5.0%
経常利益	2,651	2,800	149	5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,887	2,000	113	5.9%
1株当たり当期純利益	153円76銭	162円90銭	—	—
営業利益率	12.6%	13.1%	—	—

# 今後3年間の業績見通し

今期の売上高・各利益を更新し、  
更なる成長を目指す



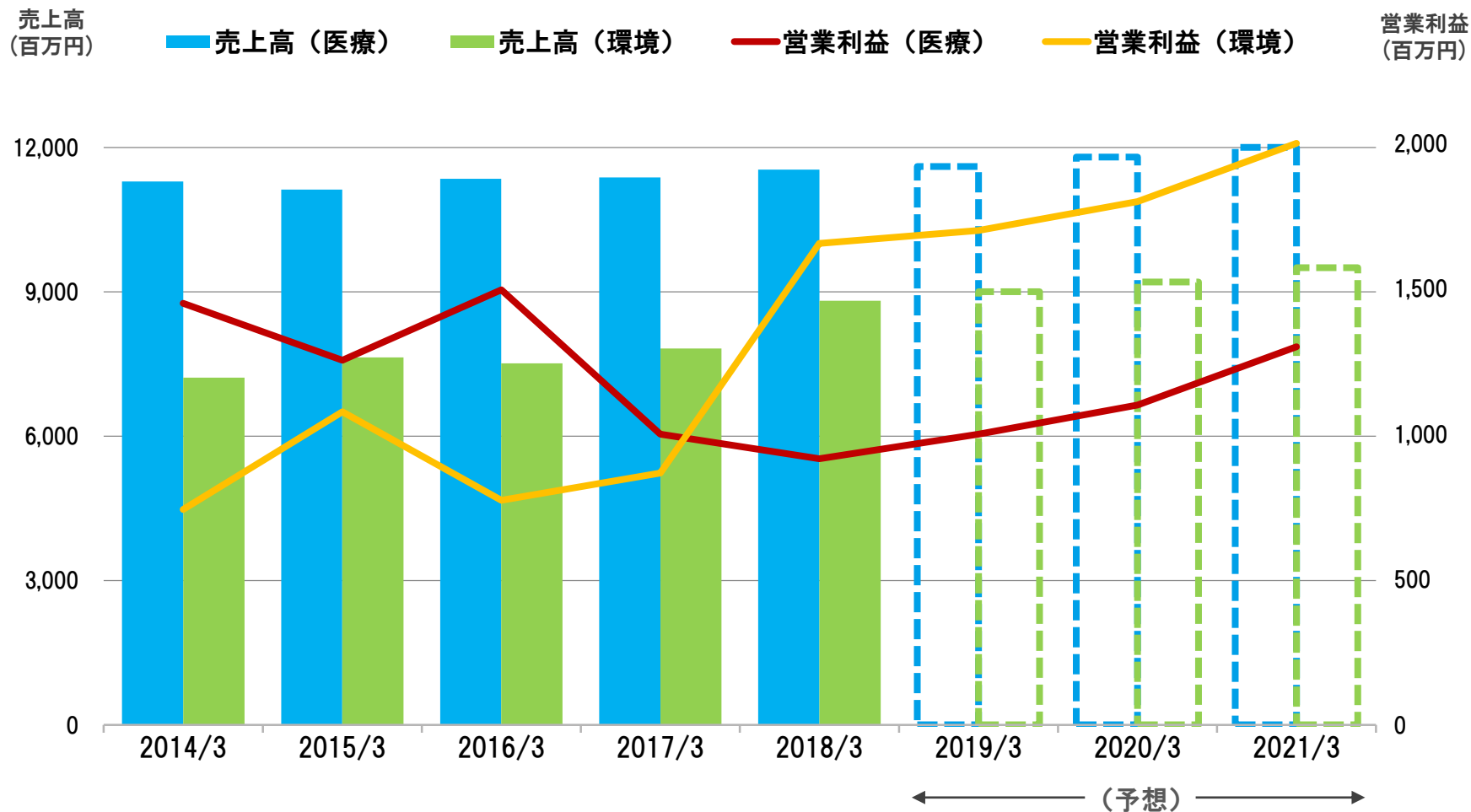
## Ⅱ 今後の事業環境

- ・収益構成の見通し
- ・製品群別の状況

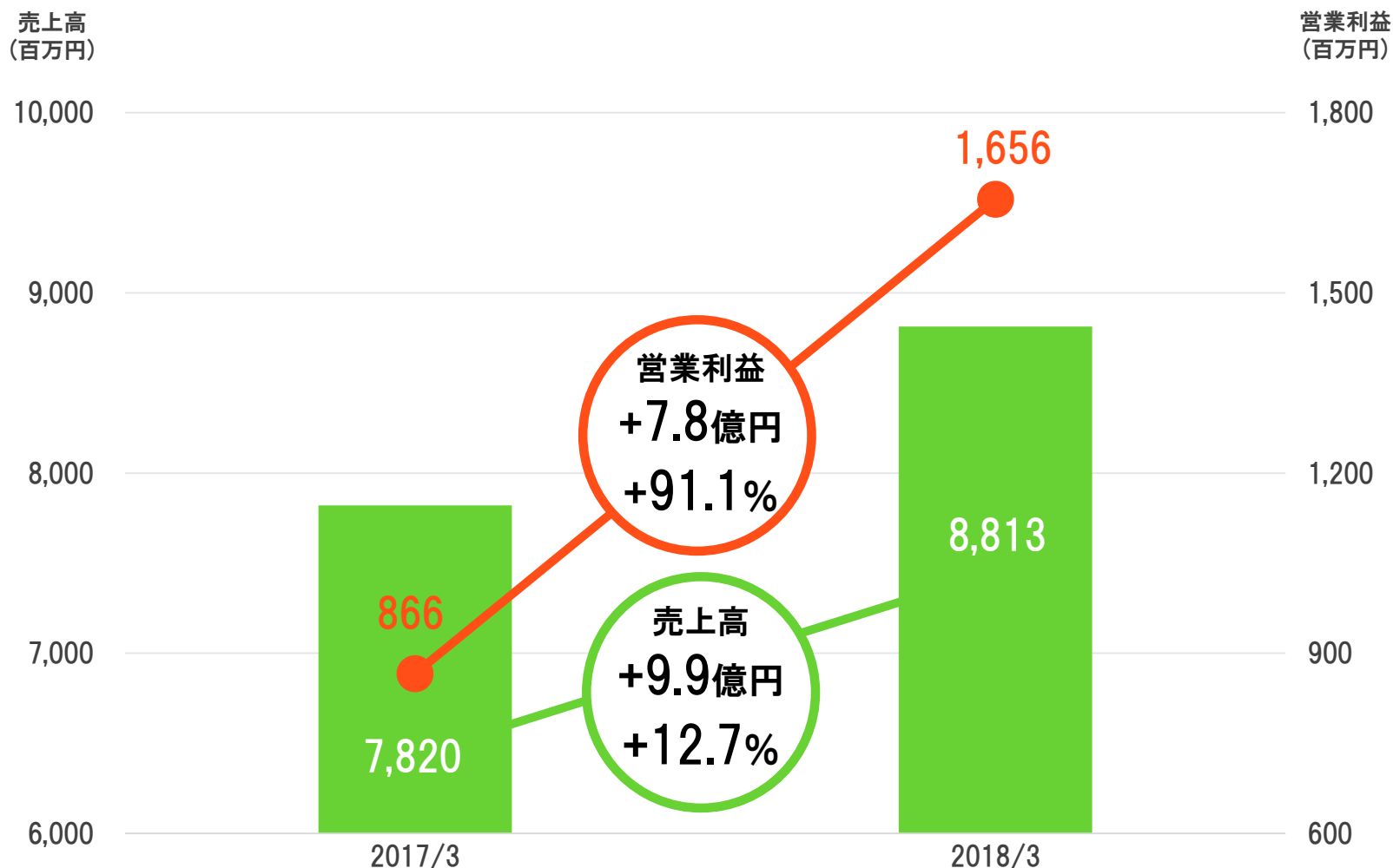
代表取締役社長 清水 健一



## 営業利益は、環境機器事業が医療機器事業を上回る



## 前期比で大幅な増収増益を達成



## 半導体関連市場向けの売上が拡大

90%

エレクトロニクス  
分野

- 半導体メーカー
- 材料・薬液メーカー
- 装置メーカー

10%

ライフ・サイエンス  
分野

- 医薬・製薬、食品メーカー
- 医療機器メーカー
- 浄水場、飲料メーカー

## 半導体、薬液メーカーからの“指名買い”が続く



KS-19F

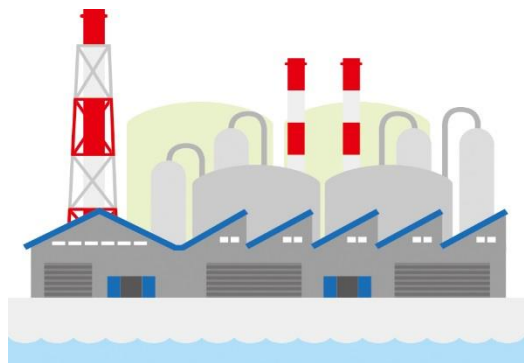
・・・純水や薬液中にある30nm粒子まで計測可能な液中パーティクルカウンタ

- ・ 他社に先駆けて発売した30nmの粒子を計測可能な機器が最先端の現場で信頼を獲得
- ・ 販売台数は前年比で約2倍に増加  
2018年に設備を増設し  
生産・サービス体制を強化



# 微粒子計測器が使われている現場

## 薬液メーカー



製造した薬液※の  
清浄度を管理



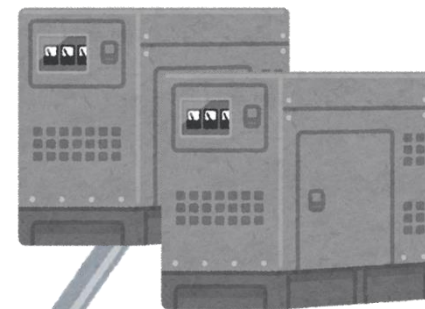
※ 代表的なものは硫酸、過酸化水素水  
アンモニア、塩酸、フッ化水素酸など

## 半導体工場

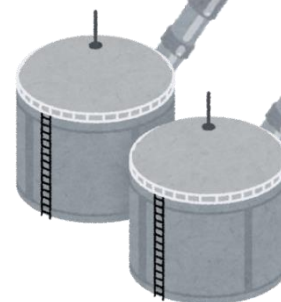
クリーンルームの  
空気清浄度を管理



製造工程



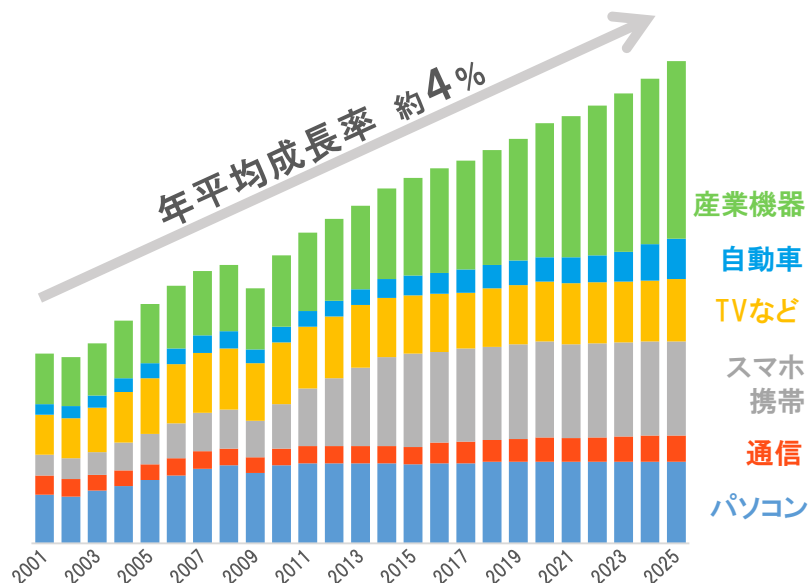
貯蔵施設



製造工程へ供給  
される薬液や純水  
の清浄度を管理

## 更なる微細化要求に対応する製品の投入で 今後もニッチトップを確保

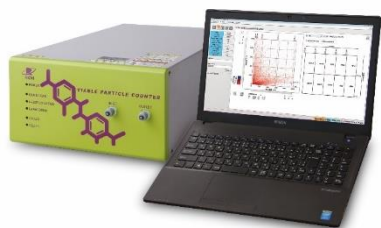
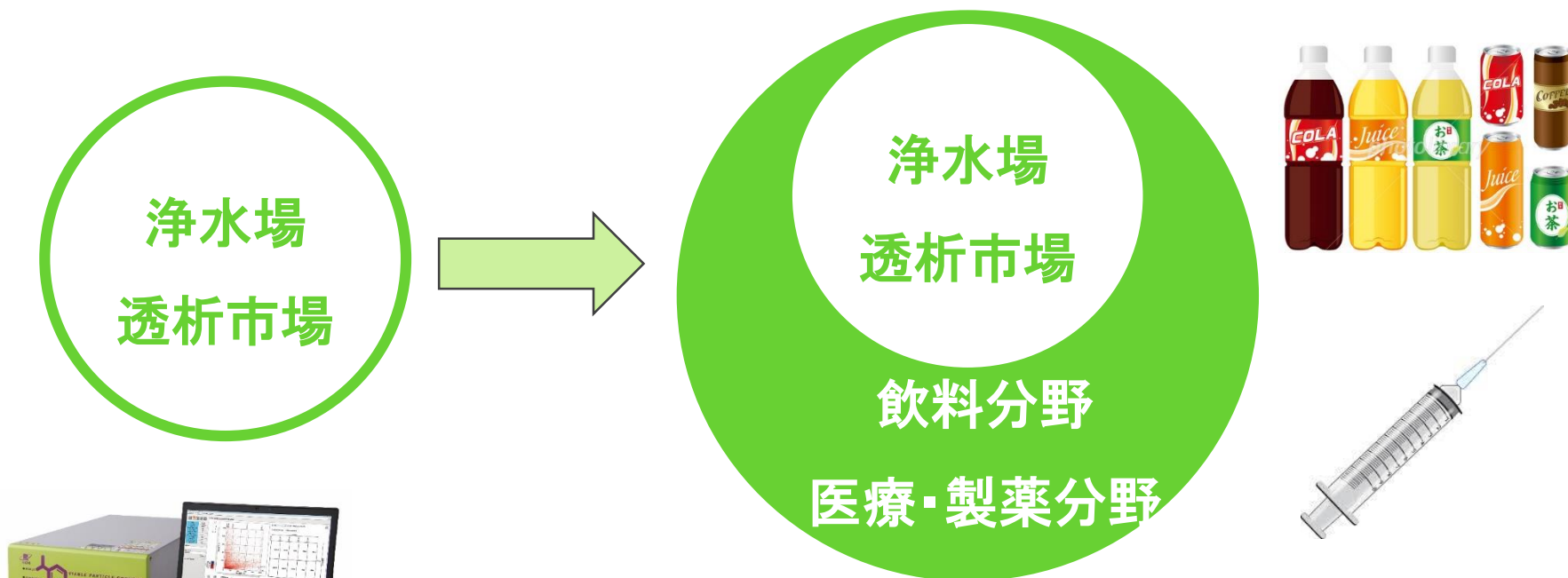
世界の電子機器生産金額予測



出展 | SEAJ一般社団法人日本半導体製造装置協会

- パソコンやスマホだけでなく  
IoT、自動運転自動車  
AI 機器等が普及
- 技術革新の進化に伴い  
半導体需要は今後も拡大

## 生物粒子計数器の市場分野が拡大

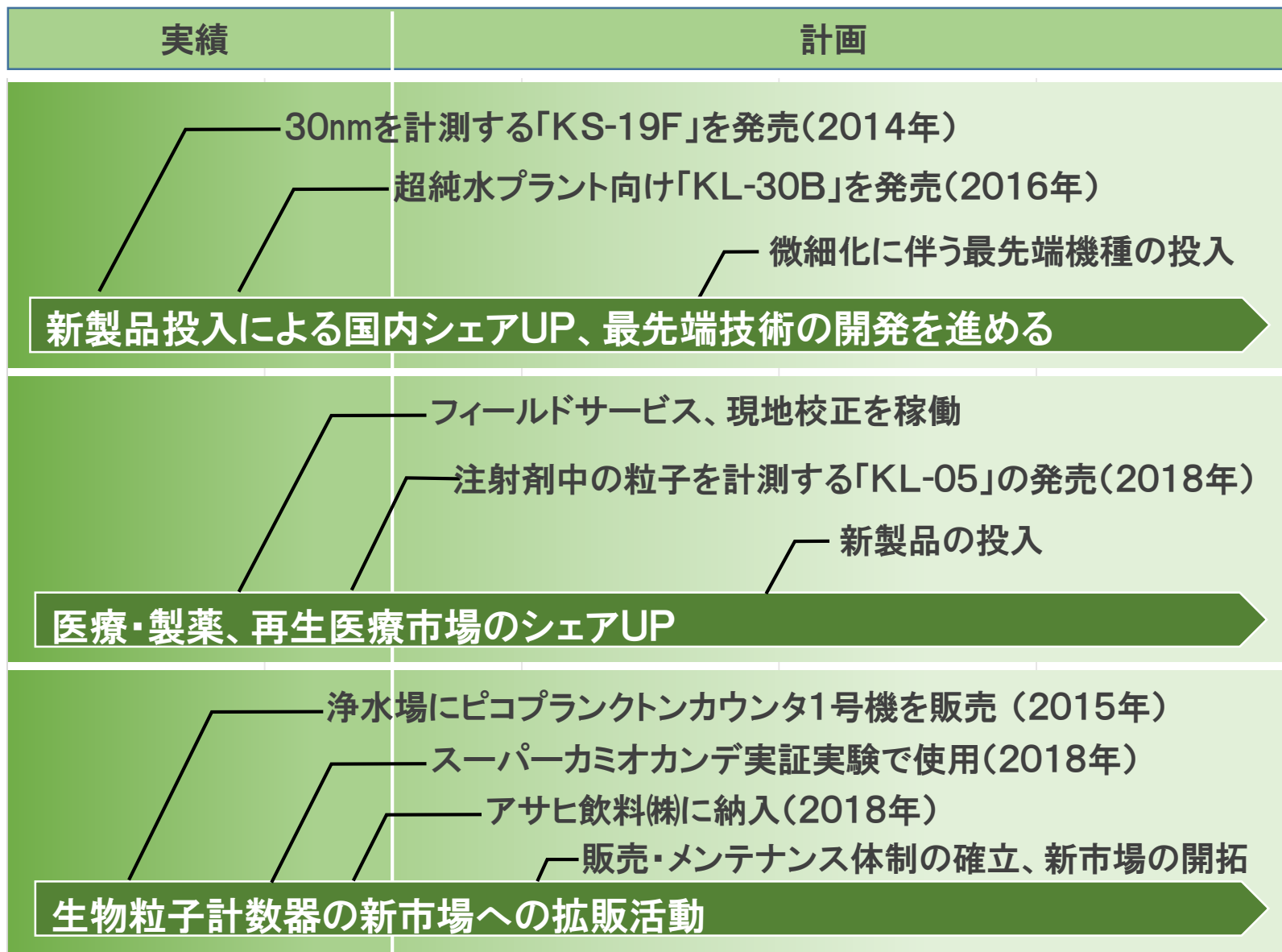


生物粒子計数器

… 水中の微粒子が生物か非生物かをリアルタイムに判別可能

微生物の検知技術を応用し  
飲料、医療・製薬分野等の  
新たな市場へ進出する

# 主な動き | 微粒子計測器



安定した需要が続く環境計測市場

自動車関連産業を中心に販売が大きく増加する産業計測市場

55%

## 環境計測市場

騒音規制法の影響を受ける現場

- 建設現場
- 道路などの騒音管理
- 航空機の騒音監視

45%

## 産業計測市場

製品開発や製造工程の品質管理

- 自動車
- 鉄道、船舶
- 家電製品

# 航空機騒音観測システムの使用例



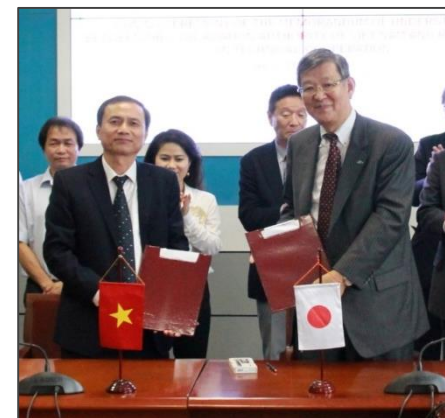
飛行場周辺の騒音を長時間連続監視



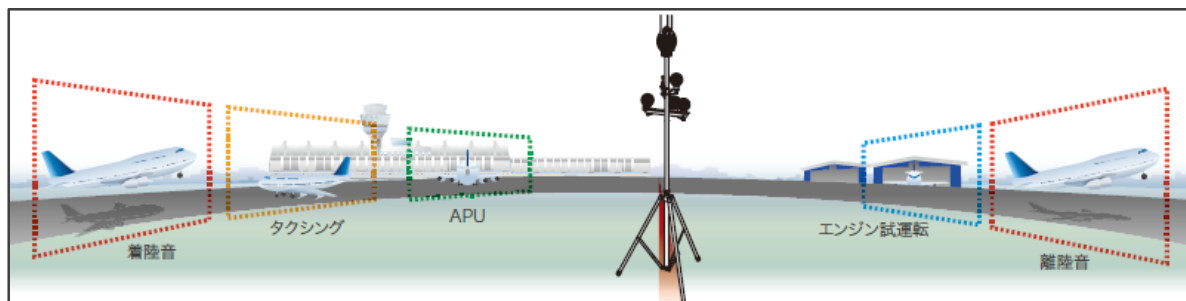
測定局の位置や瞬時値をリアルタイム表示



## 航空機騒音観測システム (2017年10月発売)

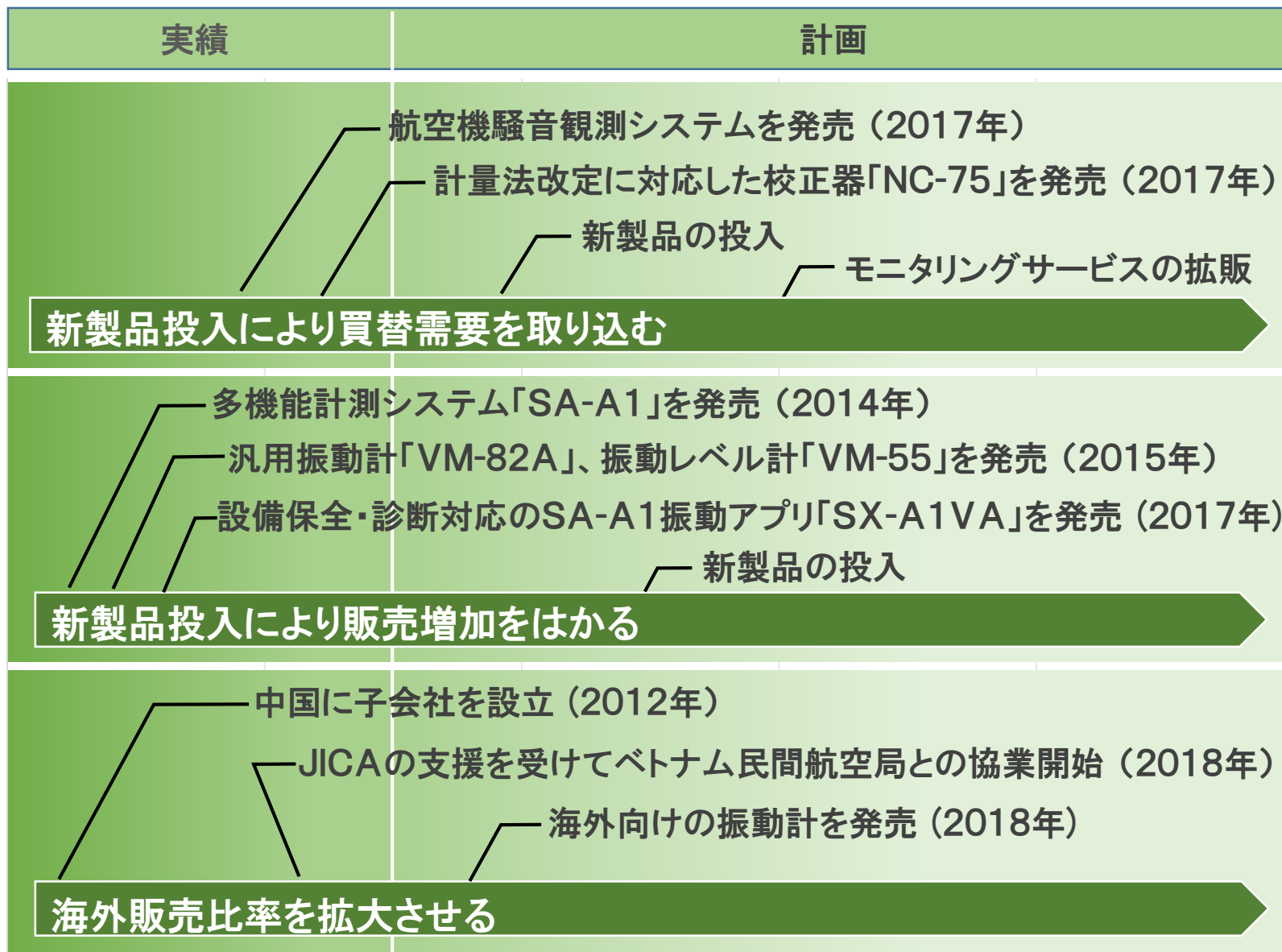


2017年、ベトナム民間航空局と技術協力に関する覚書を締結  
ベトナムの空港(約20ヶ所)への導入を目指すと共に、航空機騒音の測定技術の普及を進める



音の到来方向からの飛行騒音・地上騒音・その他の音を識別可能

# 主な動き | 音響・振動計測器





## 今後も安定した市況が続く

補聴器出荷台数は増加傾向に

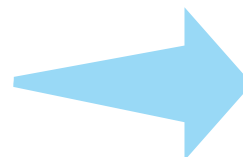
2000年(実績)

41.3万台



2010年(実績)

48.0万台



2017年(実績)

56.2万台

出典:一般社団法人日本補聴器工業会

## 今後も増加が見込まれる背景

### 高齢者人口の増加

- 国内75歳以上の人口は、2016年現在1,691万人。2055年には2,446万人(+755万人)になると予想される。出典:日本高齢社会白書

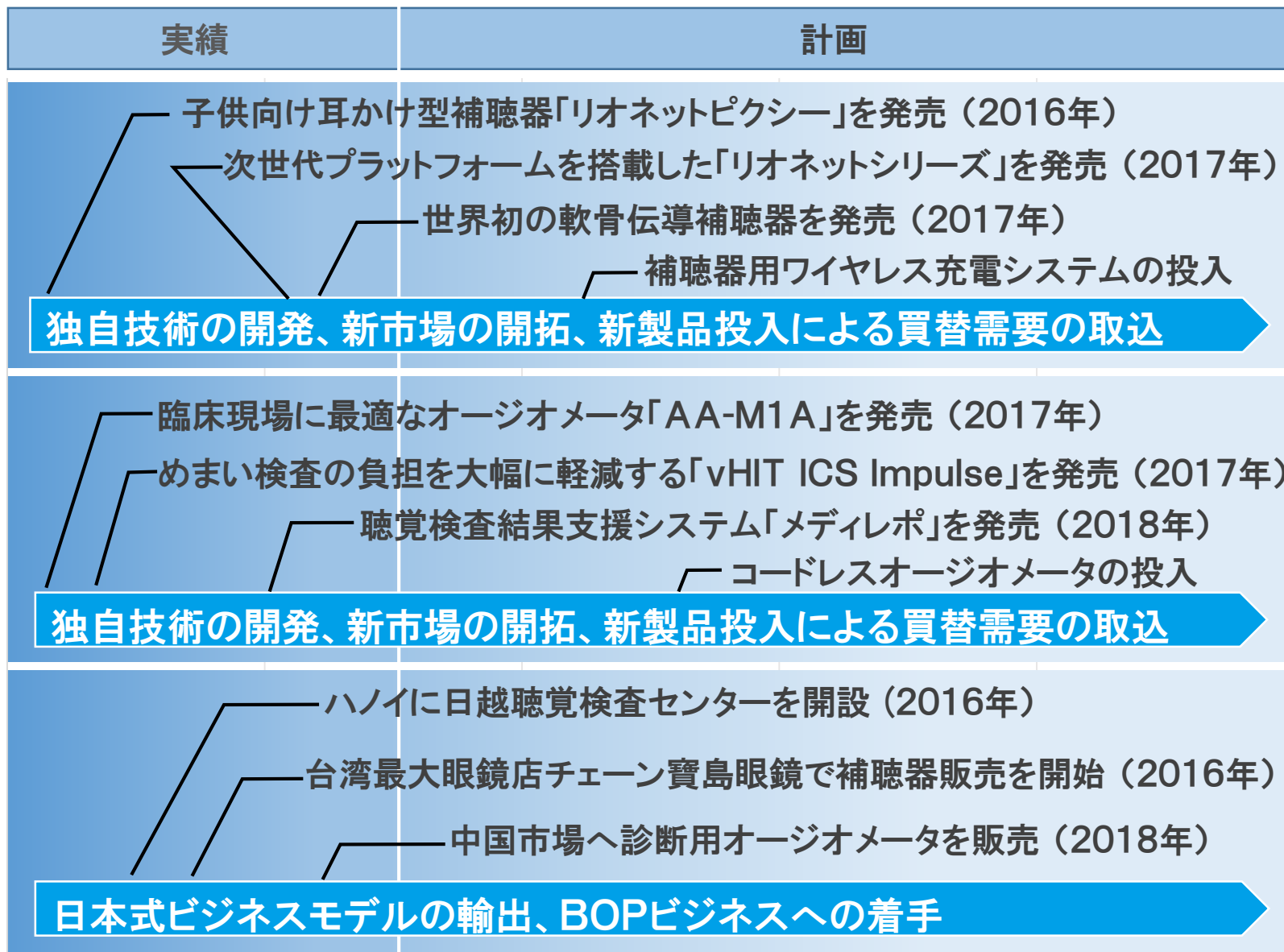
### 難聴と認知症の関係

- 難聴は認知症の危険因子であることが、2015年 厚生労働省が策定した新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)に明記された。さらに2017年には、ランセット国際委員会で同内容が発表された。

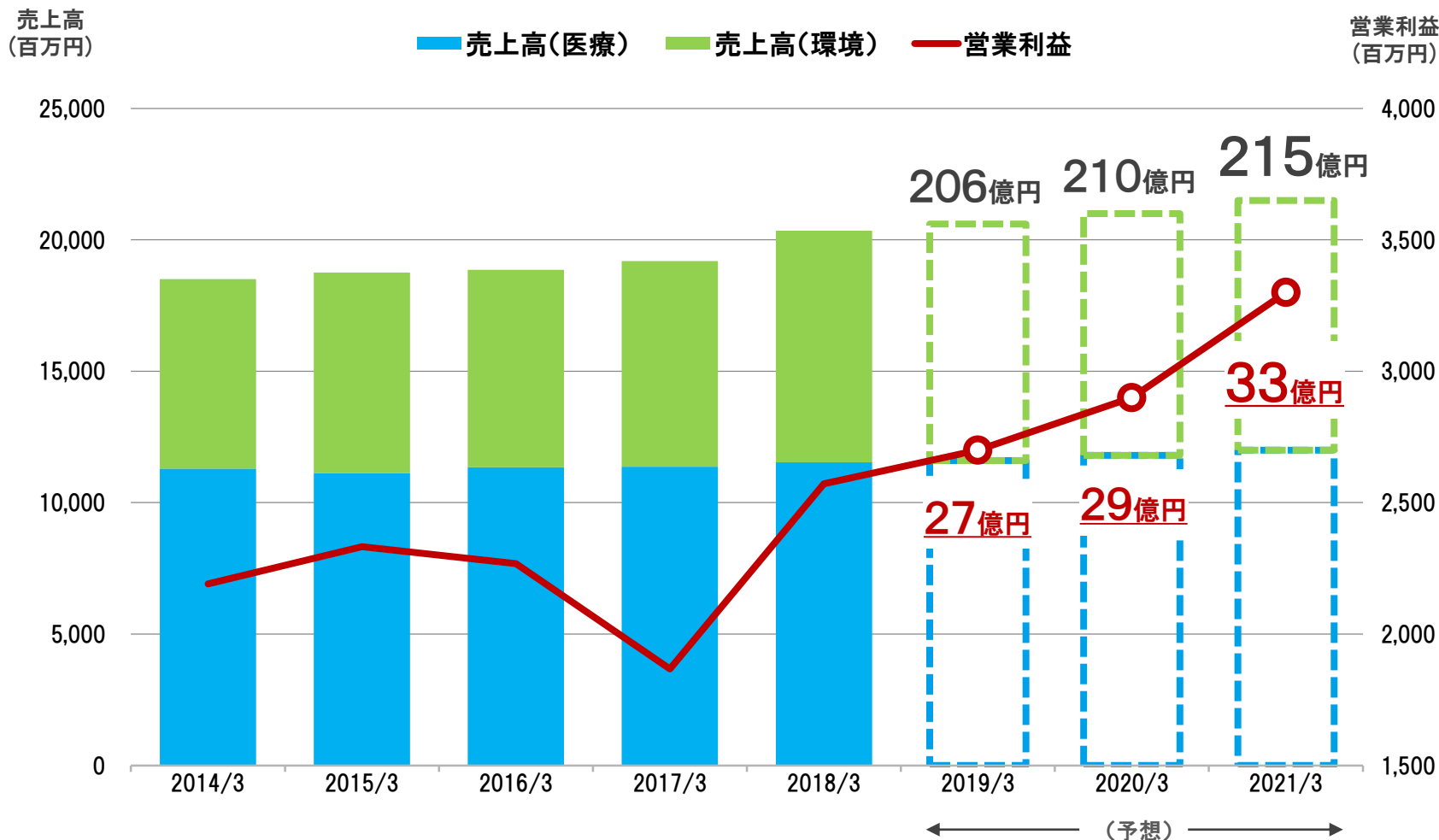
※ ランセット国際委員会とは、世界五大医学雑誌のひとつ「ランセット」に掲載されたアルツハイマー病や認知症に関する研究論文を分析・評価するために、24人の専門家で結成された組織。



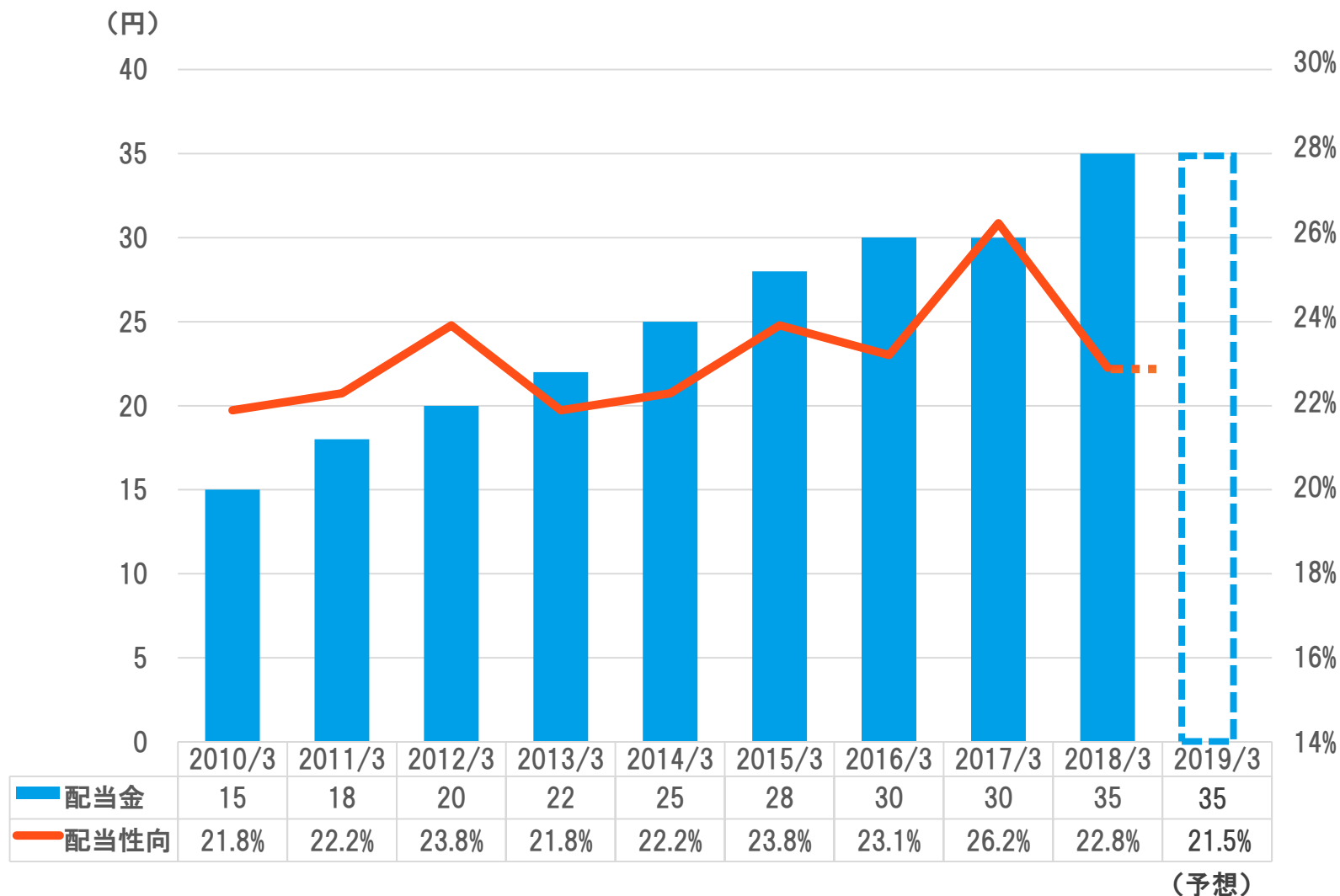
# 主な動き | 医療機器事業



## 2021年に売上高215億円、 営業利益33億円達成を目指す



## 業績に応じた配当の向上、配当水準の維持



4月25日 [オーディオメータ「AA-M1A」を新発売](#)

5月9日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.4発刊](#)

5月10日 [株式会社BONXとの業務提携](#)

7月20日 [ベトナム・ハノイでセミナーを開催](#)

7月21日 [ベトナム民間航空局と技術協力に関する覚書を締結](#)

8月21日 [デジタル補聴器「リオネットシリーズ」を新発売](#)

8月23日 [シニア層の補聴器に関する意識調査報告](#)

9月21日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.5発刊](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。

9月28日 [ポケッタブル振動計「VM-63C」を新発売](#)

9月28日 [音響校正器「NC-75」を新発売](#)

10月2日 [ホーチミン市立耳鼻咽喉科病院と覚書を締結](#)

10月4日 [新製品「リオネットシリーズ」の耳かけ型補聴器が  
2017年度グッドデザイン賞を受賞](#)

10月11日 [航空機騒音観測システム「NA-39A」を新発売](#)

10月12日 [補聴器用電池と互換性のある充電池による世界初の  
「補聴器用ワイレス充電システム」を日東電工\(株\)と共同  
開発](#)

10月26日 [世界初の軟骨伝導補聴器を発売](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。

11月16日 [2018年3月期第2四半期決算説明会を開催](#)

11月29日 [2017年「心に残った音」を発表](#)

12月5日 [眼球運動検査装置「vHIT ICS Impulse」を発売](#)

2018年  
1月30日 [配当予想の修正\(増配\)に関するお知らせ](#)

1月30日 [株主優待制度の拡充に関するお知らせ](#)

2月 1日 [国分寺駅北口ビル多目的ホールのネーミングライツ\(命名権\)を取得](#)

2月15日 [連結子会社間の合併及び商号変更に関するお知らせ](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。

2月15日 [人事異動に関するお知らせ](#)

2月19日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.6発刊のお知らせ](#)

2月20日 [光遮蔽型自動微粒子測定装置 液中パーティクルカウンタ「KL-05」を発売](#)

3月19日 [聴覚検査結果支援システム「メディレポ\(Medirepo\)」を発売](#)

3月22日 株主様向け 第4回「はじめての補聴器講座」を開催

3月28日 [国際協力機構\(JICA\)の民間技術普及促進事業に採択](#)

3月30日 [「スーパーカミオカンデ」にて生物粒子計数器の実証実験がスタート](#)

※ 下線はURLリンクが付いています。



リオンはすべての行動を通して  
人へ 社会へ 世界へ 貢献する

Contributing to people, society and the world through all our activities